



医療安全をまなびほぐす

平成30年度 医療安全マスター養成プログラム (Day1・Day2)、 受講生募集中。

医療安全マスター養成プログラムは、医療安全管理に携わる方の
「まなびほぐし（すでに学んだ知識や価値観を意識的に捨て去り、再び学び直すこと）」
を促し、実践の質の向上につなげる、「活かすこと」を重視した研修です。
医療安全に熱意をもって取り組んでおられる、多くの方のご参加をお待ちしています。

日程

第4期：定員 48名
9/23（日）
9/24（月・祝）

第5期：定員 48名
2/16（土）
2/17（日）

会場

日本医療機能評価機構 9階ホール
（東京都千代田区）

講師

荒井 俊行	（弁護士）
笈 淳夫	（工学院大学建築学部建築デザイン学科 教授）
荒神 裕之	（総合病院厚生中央病院 院長補佐）
瀧本 禎之	（東京大学医学系研究科 准教授）
田中 健次	（電気通信大学大学院 教授）
中村 京太	（横浜市立大学附属市民総合医療センター 准教授）
橋本 廸生	（日本医療機能評価機構 執行理事）
長谷川 剛	（上尾中央総合病院 院長補佐・情報管理部長）

◇ いずれの日程もDay1（1日目）は9時～18時、Day2（2日目）は9時～17時に開催します。
◇ 費用、申込方法等、詳細は裏面をご覧ください。

対象

医療安全に関する基礎を学んだ方で、実践力を高めたい方

- ・職種は問いません。
- ・下記のいずれかの要件を満たす方を想定しています。
 - ①医療安全部門の責任者もしくは専従者であること。
 - ②医療安全対策加算に係る研修(通算40時間以上)を 修了済みであること。
もしくは相当の知識と経験を有していること。

費用

- ・病院機能評価認定病院、
又は受審申込済みの病院にご所属の方 60,000円(税込)
- ・上記以外の医療機関にご所属の方 80,000円(税込)
昼食代を含みます。宿泊・交通につきましては各自でご手配ください。

科目

オーガナイザー
長谷川剛

進行状況等を鑑み、当日、
内容の一部を調整させてい
ただき可能性がございます。
ご了承ください。



事前課題が
あります

	科目・テーマ	講師	ねらい
Day 1 9時～18時 予防的安全管理	◆ 医療の安全とは	橋本 廸生	・プログラムの趣旨を理解する ・医療安全・患者安全が学問として整理されてきた歴史・背景を理解する
	◆ 医療安全・患者安全に通底するもの	田中 健次	・工学や心理学等の関連領域における学問的基盤を参照し、医療安全・患者安全を脅かす事象への具体的な解決方法を考える
	◆ 施設・環境・設備のマネジメント	笈 淳夫	・建築・環境デザインの視点から、医療現場におけるリスクを考える
	◆ 医療システムとレジリエンス	中村 京太	・複雑系システムの概念を把握する ・医療現場で起こるさまざまな事象をシステムとして把握する
Day 2 9時～17時 リスクが顕在化した後の安全管理	◆ 予期せぬ有害事象への、 具体的対応 [押さえておくべき基礎知識]		・予期せぬ重大な有害事象への対応について、複数の目線で知識を整理し自院の取り組み(マニュアル・指針・ルールの改訂等)に活かす
	・臨床倫理の観点から	瀧本 禎之	・顕在化したリスクに対する、捉え方や対応策の立て方を振り返る
	・法的観点から	荒井 俊行	
	[事例を巡って]	荒神 裕之	
	◇ 総合リフレクション		

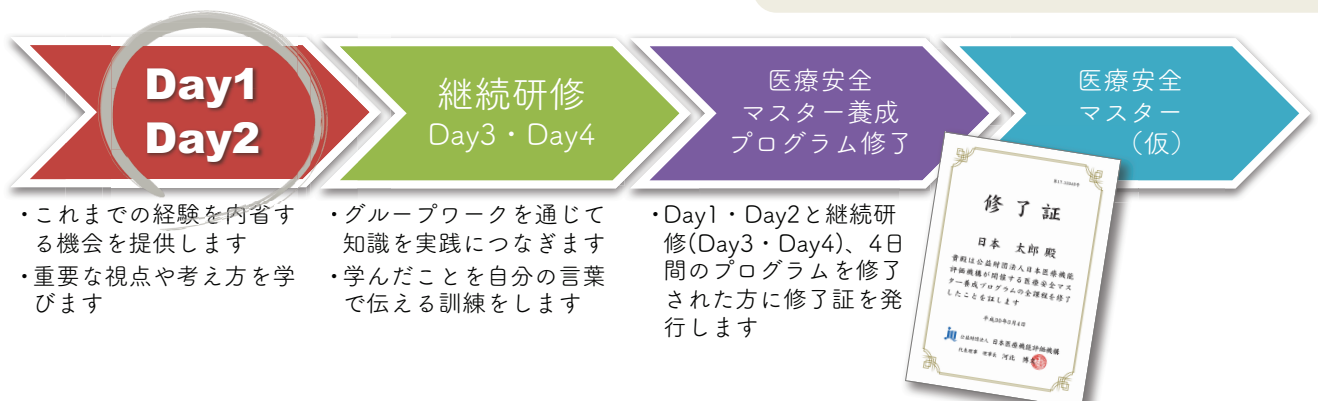
申込

ウェブからお申し込みください

- ① 検索サイトで「医療安全マスター養成」を検索してください。
チラシ表面左上に記載されているQRコードからもアクセスいただけます。
- ② 病院機能評価事業ホームページ (<https://www.jq-hyouka.jcqh.or.jp/>) 内の「教育研修>医療安全アドバンスコース」に移動します。
- ③ 「お申込みはこちら」ボタンをクリックして希望の日程をお選びください。

医療安全マスター養成プログラムとは...

医療安全に関わる皆様の日々の業務のブラッシュアップと、継続的な学びを支援を目的とした、
機構が提案する新しい研修の体系です



※ 当チラシの記載内容について予告なく変更・改訂することがございます。詳細や最新情報はホームページを御覧ください。